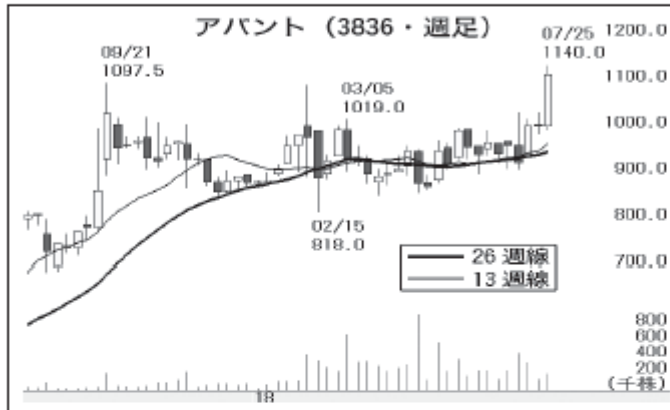


アパート 連日の最高値更新

事業環境に追い風

アウトソーシング事業も好調



アパント(3836)が連日の上場来高値更新(過去の株式分割を考慮)と強さが光る。

8月30日に2018年6月期の決算発表を控え

ているため、それを先取りする動きもあるが、確固たるビジネスモデルによる着実な成長路線に評価は高まっている。

連結会計・経営管理シ

ステムのパッケージソフトの販売やコンサルティンクなどをを行う。IFRS(国際会計基準)適用や、ガバナンスなど経営管理の高度化ニーズの高まりで、事業環境には追い風が吹いて

いる。東証1部の時価総額上位50社(今年3月末)のうち26社が同社のシステムを使用している。また、連結決算処理から開示書類作成までをカバーする決算業務アウトソーシング事業が拡大している。その業務を展開する子会社「フィエルテ(フランス語で「誇り」の意味)を事業分割により昨年8月に設立した。経営に役立つ情報の作成など企業における経理部門の役割は高まっているものの、人員は増えず、「働き方改革」にも対応が必要になっている。そうしたアウトソーシングのニーズをくみ取っていく。18年6月期は売上高119億円(前期比13.0%増)、営業利益13億円(同0.5%減)の見通し。第3四半期累計(昨

年7月〜今年3月)の営業利益は11億3600万円(前年同期比12.5%増)と通期予想に対する進捗(しんちよく)率は87%に達している。業績

上振れを期待する見方が多い。なお、25日引け後上方修正を発表。前期の営業利益を16億3100万円とした。